

春らしいボンヤリした展望もまた楽し 大霧山

実施日 2017年4月30日(土)

天候 晴れ

リーダー 涌井 良明

参加者 福島政幸、涌井良明、白石恵美子、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、石原勝正、岩崎陽子、白石佐恵、児玉章、向山博子、臨時G1 計12名

費用 1,620円(東武・池袋起算)

☎1,140円 計2,760円

タイム 小川町駅(9:12☎)橋場BS(9:40~50)粥仁田峠(10:55~11:00)大霧山(11:40~12:15昼食)旧定峰峠(12:43)檜平(12:34)獅子岩(13:00)定峰峠(13:40)白石車庫(14:10~15:10)小川町駅(15:50)

GW初日、天気予報は盛んに大気不安定で突然の雷雨に注意と繰り返し伝えていた、が、サブタイトル通りボンヤリ展望を楽しみつつ春爛漫の萌黄に包まれて里山ならではのノンビリと心地良い山行になった。



橋場BSから橋を渡って車道の緩い登りを行き、しばらくで右にショートカットの小道へ、再び車道を進んでから、粥仁田峠へ

向う小道に入る、所々開けた場所から春の好ましい里山風景も広がる。

車道が横切る粥仁田峠で、一息ついて大霧山へ向う。峠から山らしい急な登りになって汗をかき。ヤマツツ



ジも見られる芽吹きを進む。先程までの青空に徐々に白っぽくなるのは気にはなる。峠から40分程で大霧山に着く。やはり大気不安定なのか、或いはこの時期だからか？西から北にかけての展望台だが、遙かにボンヤリと山の影の連なりが見えるが、山名板と山座同定の睨めっこは残念ながら無理。今の時期はこれが普通と言いつけさせ？飯・めし



と山頂のランチである。GWなのに雷雨情報のせい、5~6人のパーティと我々だけでこの他空いている山頂は有り難い。じっとしていると少し風が冷たいがノンビリと過ごしてから山頂を後にする。

60~70分下って、先週数千人が歩いた尾根道は往復2人線(そんな言い方あるか?)くらいの所もあって歩き易い道である。



檜平は左に折れて下った鞍部が旧定峰峠、植林の森を抜けてピーク701円の登りになって、獅子(岩)を見てピークでヤレヤレ、後は下りになってやがて車道が交叉する定峰峠に降りた。

車道を左に僅かで歩道に入り、車道とクロスしながら下って歩道が切れて車道を歩くようになるとバス停も近い。

タッチの差でバスに先行されたが、今日は余裕もあるので、早速個人反省会に興じたり、甘党反省会でのおしゃべりなどあつと言う間1時間が過ぎて、小川町へのバスに乗る。オツカレサマ!



(記&写真・涌井 良明)
(写真提供・石原 勝正)